

外国人社員が“誇れる自分である”よう、 公平な評価制度と安心して働ける環境を整備！

製造業

株式会社 アベテック

設立年 1931年
従業員数 41名
事業内容 軸受け部品、自動車部品の製造
所在地 三重県桑名市福岡町473-16
HP <http://abetech.jp/>



株式会社 アベテック



外国人材雇用を始めたきっかけ

若い世代の社員が増えていた中で、約10年前、ベトナム人材は温厚で勤勉な人柄だと聞いていたこともあり、社内に落ち着いた雰囲気を取り入れたいと考えはじめたことがきっかけです。

採用のための取組

登録支援機関、監理団体や人材紹介会社からだけでなく、既に弊社で働いている外国人社員からの紹介によるリファラル採用も積極的に受け付けています。また、外国人社員向けの住宅を整備することで、安心して応募できるように受入れ環境を整えています。

課題

外国人社員の日本語能力の底上げに課題を感じています。

より専門的な業務内容を理解して社内ですらに活躍できるよう、企業としてバックアップしたいと考えており、キャリアアップをめざして日本語学習意欲を高めてほしいです。例えば日本語能力試験(JLPT)に合格した際の褒賞金制度を設ける等、外国人社員のモチベーションアップにつながる体制づくりも検討しています。

また、弊社には、結婚や出産といった大きなライフイベントを日本で迎えた外国人社員もいるため、本人だけでなく、家族や子供たちの暮らしやすさも考えた上で、長く活躍してもらえるよう企業として取り組んでいきたいです。

外国人材 採用経路

登録支援機関、監理団体、国内人材紹介会社、リファラル

- 外国人従業員数 10名
- 国 籍 ベトナム9名、中国1名
- 在 留 資 格 特定技能4名、技能実習3名、技術・人文知識・国際業務3名
- 業 務 内 容 製造、機械検査、生産管理、通訳



総務ご担当者

外国人材の定着・活躍のための取組状況

01 日本人と同じ評価制度で、 外国人社員の主体的な成長を支援

国籍に関係なく、技術や業務品質の向上に応じて手当が反映され、昇進にもつながる評価制度を導入しており、公平な評価体制が意欲向上にもつながっていると思います。現在はベトナム出身の班長2名、中国出身の主任1名が活躍しており、裁量を持って日本人を含む部下を統率しています。

02 分かりやすいマニュアルの整備で不安を解消

専門用語や技術的な内容等複雑な日本語が飛び交う職場のため、各部署で、誰にとっても伝わりやすい日本語でアレンジしたオリジナルの業務マニュアルを用意しています。マニュアルの整備を通じて、日本語能力に不安のある従業員も安心して担当業務に取り組みていると思います。

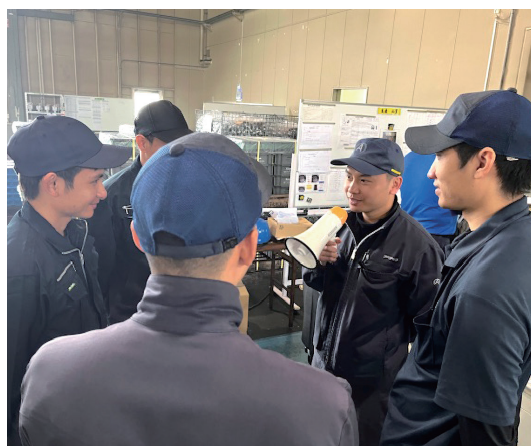
03 生活支援を通じた家族との信頼関係づくり

外国人社員向けの住宅を借り上げたことをきっかけに、日常生活の様子をヒアリングし、困りごとをサポートできるよう、家庭訪問を行っています。家庭訪問を通じて、異文化理解が進んだだけでなく、社員の家族との信頼関係構築にもつながっています。家庭訪問の中で、従業員の配偶者が弊社で働きたいと言ってくれたこともあり、新たな人材の獲得につながりました。配偶者と同じ職場で働けるということは外国人社員にとっても嬉しいことのように、お互いにとって良い結果が得られたと感じています。

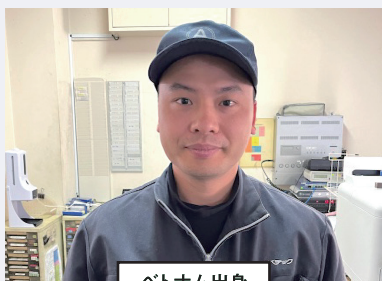
04 社内イベントの開催で部署も国籍も超えた関係性を構築

バーベキューやカラオケ、ボウリングといった、業務外で社員同士が交流できる機会を積極的に設けています。

外国人社員にはコミュニケーション能力の高い方が多く、日本人社員ともすぐに打ち解けてプライベートでも交流を深めており、オン・オフともに充実した生活を楽しめているようです。国籍や担当部署にとらわれない社員同士の関係づくりが進んでいるおかげで、和やかな社風を実現できていると感じます。



外国人社員の声



ベトナム出身

班長として活躍する外国人社員

勤続年数	8年
日本在住年数	8年
業務内容	機械検査
在留資格	技術・人文知識・国際業務

班長として成長を実感、仲間とともに働く喜び

自分自身の成長と収入アップをめざし、母国ベトナムを離れて日本に来ました。当初は技能実習生として来日し、日本語もほとんど話せない状態でしたが、アベテックで仕事をしながら勉強して、技術と日本語の両方を少しずつ覚えていくことができました。

現在は、「技術・人文知識・国際業務」の在留資格で機械検査を担当しており、技術や能力を評価されて、班長に昇進することができました。

自分の判断で業務を進めたり、部下に指示をしたりと、責任ある仕事を任されたことで、とてもやりがいを感じています。

これからも会社や行政のサポートを受けながら、頑張っって日本語の勉強を続け、さらに昇進していきたいです。